

◇獨逸の現状は
水先案内無き船舶

激派主義實行運動はなりぬ今日獨逸の要求するに
國の運命を担ひしに足るべき大傑作の出現であり而か
所の船の出帆せざるを以て獨逸は倍も水先案内
の潮流の流るるまに漂へるが如き状態にあ
りてウヰリアム氏は曰く「獨逸の現状を望みれば倍も大酒家
の酔酩たる酒を飲まれたるが如し」、更に有力なる一獨逸
者全獨逸黨は全朝野を驚愕、國は獨逸を目す
死に瀕せる大病人なを以て謀和條約の締結せらる

市たるべし同市は獨逸の中心に位し
カルト、フランクフルト、ライプツヒよりの道路の交差點に
千八百五十年獨逸議會の開かれたる地なり(東京特電)

ムステルダム來に日船すべし筋よりの報道に依れば獨逸はシ
ウ井ヒ北部を丁抹に割取せり(二東京特電)

◇帝室制度審議

友會本部に打電せり(倫敦電報)

屬し得ざるものなり然るに今回の皇室
 臣の奉請に依り勅命を以て定の
 無難なる邊りにして總裁は宮内
 卿の管掌に關する必要な法規
 運に就しは獨逸國內に於ても
 社會其他の端派は中興貴を
 すべしと教諭し尙節獨帝の帷
 參與せる軍閥頭目は其後を
 了却しに赴くべしと言ふ又一

立し得ず離任の決意固きも
 あり是を職すに由なき有様な
 よる結局東子の解任を容れ後
 は官制改革を詔す波多野首相
 側は前帝の罪責を糺す
 英首相ロイド・ジョージ氏は
 官意をして其犯及び其責任
 合せしめたる結果前帝の開
 耳義中立の意見、精神

も割れず官印が同總裁を兼ねたるも和蘭は獨政府の承認をれば引渡しを得ずとの回答を父米蘭ウイルソン氏は其引渡反對なりと傳へ其の處分問題

[illegible][illegible]

因于厥之小者、見るべき處に、
將來に於て、纔僅一千二百に増加の
勢に於て然るに、行爲則ち一萬餘に上り、
是は從來朝鮮に於て從價五分
一、反約十三條の輸入税ありて
事業の卒、因に同視心を蒙るが
を以て、今固く心を收正し、
政の休廢成立と共に理地維持す

七十年に其合なり。其大半は全く
亡に滅したるが其大半は全く
時の遭難に落されて、眼を
よりには多くは木船運賃の償還
より本年初め頃より、木船の運賃も
非難せざる共に相沈没の兆
政の休廢成立と共に理地維持す

免稅品の範圍は前述の如く、輸入後一
年内に物體として輸出するに
限る。これに適用せらるべき特典として
關税に消費する繊維品には
四十錢より五十六十錢を往來せる

金銀組合第三十一條 第二項但書の
金銀組合第三十一條 第二項但書の
改正告示

金銀組合規定中

朝、鮮銀行入電
紐育十一月二十九日發鮮銀入
によれば同日日本向きの爲替相

經商界手抄

形勢を鑑み、先山に群衆を沃瀆し、
大郎を遷城し、金泉を金饒に晋州を
ては各方面共戦後政府政策の影
に充る性能はつるべしとてそ

澤州を開拓して夫々名勝を變更する

市街は夫だ輸出の附加困難な
ん信するものゝ如し尙ほ市街の
ては各方面共戦後政府政策の影
に充る性能はつるべしとてそ

伊賀守が船越につづりあり

○預金利子改定か
京城組合銀行間の問答

[illegible][illegible]

▲同一様の手心率
 認のんとするもの、如きに付、
 京の銀行、内地銀行支店の
 金利、高は京阪に比し低率
 用多きため、銀紙にては十月よ
 百圓券増發


▲百圓券増發
 京の銀行、内地銀行支店の
 金利、高は京阪に比し低率
 用多きため、銀紙にては十月よ

本行並に十八銀行各支店にては
 地方に於て發行し居れり又補助

爲の價格は、當時、低落
 重なる本年五月の交には四十錢
 に達し、而して市面は、爲
 幣に押連而下の取引行ひ居た
 に休職の迫る、感に向ふと
 次第で、本邦市
 場は、
 だつて固く、
 要する事な
 るべし

[illegible]

の益あるに唯懸念すべきは、金貨は近年未償有の増加率を示したる點である。然れども銀行の總手廻りを免れるを以て貸出に多少の危険を冒さざるを得ない。


朝鮮新傭船
 北鮮と阪神間
 鮮郵會社にては北鮮各港へ阪
 神各埠頭迄は十分に駛へあり
 地上自民氏よりは清津・海州・元山・咸興・大川・保寧・廣川・洪州・大樽・龍山・温泉里を経て京釜線大安路に達
 船設計士中謂は此程迅速な船を

●**下半京城商況**
 昨の事なれり尚ほ同船は、
 船頭、石二百三十四圓、
 運送する由にて

●**司法官事務試験**
 昨、午後九時半、
 試験官、依松、
 中なり

十二月下半の京城商況に付、鮮銀の調査を聞くに、

五米穀 本年の半島米作は、平年より若干三三三萬石増收の見込みなり

地方法院 本法院の西川、安藤、司馬、三井、新式裁判を施行し、午後

日午前九時半より總務府第二會議所に於て、京城地方法院内閣修一、

事に於て、京城地方法院内閣修一、

地方法院に本法院の西川、安藤、

司馬、三井、新式裁判を施行し、午後

月、兵に比べたば約一週五十錢方
 需をを示せり乃ち、玆米三十圓五
 錢、白米三十七圓七十錢持合にて
 月せり

要なるに鑑み仁川に一大倉庫會社
 を創設せんこの議あり河野竹之助
 加來幸太郎淺松太郎吉田秀次郎の
 氏氏發起となり十日午後七時とぬ

[illegible]

米を有れ米價倅なり二割高にて
 發賣三十斤八十三圓頃なり
 金座 歲末を控へ例年金座は順
 調の狀況にあり本年は米旨
 細少のみにせしめし事なし
 入京の確定なり
 川上理事滿洲行
 振興事川上常郎氏は盛産課長米
 公議氏常同八日午前九時五十分

○忠南輕鐵詮議

時々の産業職に深く將來を
 志する暇なく貸出しに努めた
 は日界明透不安の如なる三氏
 借入者をして今更貸りの放浪
 窮乏に至るに至るを憂へたり
 日々今日を貸出救済を要す

鈴木校長の知識を留めて
 龍山 小山 生
 御眞影をさうりだんを懸かると
 炎の中に入りし君はも
 ぬがづきてもゆる炎に平かたたる
 みこころ思へば涙はより落つ

[illegible]

◆ 今回の平和會議に於ける最も重大にして、最も辯論の盛んなるは講和會議よりも、密着國際聯盟條約の自由平等の大問題なるべく、

内地各地觀察中なる鮮人數員は、
寧波一行は、愈十三日前九
に歸京すべしといふ。

内地視察團歸期
伯林議會に偲るも、決して安ら
ざるべきを想はずんば非ざる也。

人物より見るも、往年の維新會議
なる問題たるべく、而して其登場

觀察中の鹿嶋教育觀察團一行
十一月午後七時二十五分南大門
入京十二日原城工業專門學校
女子高等普通科附屬普通
科女子高等美術科演習所を視察
つたるべき者、若くは其以上の人
物を出して贈しませざればなり。
◆聯合國側に於ける講和會議の準
備は、著々として進捗しつつある

十三日午後八時四十分南大西線
にて南行の發定なり

西比利亞行(四)

於哈拉爾 孟工生

の邊境に到るの天がよりきり晴れ
る。國境の邊境に到るの天がよりきり晴れ

あるが如し。特にスバルカス國
の勢力。旺盛なるが如きに至りて
は、蓋し獨逸をして、其統一の時
を待たせしむるに、其意を以て

國境の邊境に到るの天がよりきり晴れ
る。國境の邊境に到るの天がよりきり晴れ

「伯利に於ける、コルチヤツク
の態度に出んとするか。然らず
んば、伯利の言を執らんとする
か。諸君會議の問題は、益々多
くを認めるのみ。」

[illegible]

や、又八幡の神社にて六十の騎
士を以て各部隊の強弱に之の変を識
すべしとある京師、山科御堂村に時略大將
○ト荷より

阿比生

オルコフ軍を邀撃せんし、斯て
雲の西伯利は、再び戰雲に閉され
んす。驚川愚隘は彼等の常也。
敢て怪しむに足らずさ。然も、西伯

國の厄介也、此際列國は之を如何
 に取扱はんとするか。

[illegible]

海軍省の家族へ百萬圓を

自働車の奨励費を増額す

海軍省の家族に對する優待として、自働車の奨励費を増額する。従前は、海軍省の家族に對する自働車の奨励費は、一萬圓を限度としてゐたが、現在は、五萬圓を限度とする。これは、海軍省の家族に對する優待として、自働車の奨励費を増額する。従前は、海軍省の家族に對する自働車の奨励費は、一萬圓を限度としてゐたが、現在は、五萬圓を限度とする。

南洋警備艦 長月菊月等凱旋

南洋警備艦長月菊月等、南洋に凱旋する。長月菊月艦長は、南洋に凱旋する。長月菊月艦長は、南洋に凱旋する。長月菊月艦長は、南洋に凱旋する。

御祝電 高齡者

高齡者に對する御祝電。高齡者に對する御祝電。高齡者に對する御祝電。高齡者に對する御祝電。

流行性感冒

流行性感冒の流行。流行性感冒の流行。流行性感冒の流行。流行性感冒の流行。

大谷軍師 出征車馬問

大谷軍師の出征車馬問。大谷軍師の出征車馬問。大谷軍師の出征車馬問。大谷軍師の出征車馬問。

岡山縣知事 處決を聲明す

岡山縣知事の處決を聲明する。岡山縣知事の處決を聲明する。岡山縣知事の處決を聲明する。岡山縣知事の處決を聲明する。

君難に病した

君難に病した。君難に病した。君難に病した。君難に病した。

劉崇保氏京都にて狙撃さる

劉崇保氏が京都で狙撃される。劉崇保氏が京都で狙撃される。劉崇保氏が京都で狙撃される。劉崇保氏が京都で狙撃される。

貨物の盗難

貨物の盗難。貨物の盗難。貨物の盗難。貨物の盗難。

遺留品車に衝突

遺留品車に衝突。遺留品車に衝突。遺留品車に衝突。遺留品車に衝突。

河東事件擴大

河東事件の擴大。河東事件の擴大。河東事件の擴大。河東事件の擴大。

春場所 近づく

春場所の近づく。春場所の近づく。春場所の近づく。春場所の近づく。

労働者 一千人

労働者の一千人。労働者の一千人。労働者の一千人。労働者の一千人。

師走の古著屋

師走の古著屋。師走の古著屋。師走の古著屋。師走の古著屋。

殺入鬼

殺入鬼。殺入鬼。殺入鬼。殺入鬼。

力士錦島 重態に陥る

力士錦島が重態に陥る。力士錦島が重態に陥る。力士錦島が重態に陥る。力士錦島が重態に陥る。

寒氣酷し

寒氣が酷い。寒氣が酷い。寒氣が酷い。寒氣が酷い。

存原五八 懲役二箇月

存原五八が懲役二箇月。存原五八が懲役二箇月。存原五八が懲役二箇月。存原五八が懲役二箇月。

仙臺平 産産を

仙臺平の産産。仙臺平の産産。仙臺平の産産。仙臺平の産産。

演藝案内

演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。

有樂園

有樂園。有樂園。有樂園。有樂園。

大正館

大正館。大正館。大正館。大正館。

文楽座

文楽座。文楽座。文楽座。文楽座。

浪花館

浪花館。浪花館。浪花館。浪花館。

萬年筆

二葉ボマド

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

萬年筆

寺内御用邸司矣
日御下賜品の御禮を述べ同

の、重且つ大なることは、天目
明かなるよりも尙ほ明がでなけ
ばならぬ。實に日本帝國あるが

東洋永遠の
難を解決す可きである。然らば、日米問題の如き

なければならぬ。戦争中東洋の
 地位を、充分列國に承認さ
 せ、平和の義に際しても、當然、我が
 國が東洋に於ける平和保障の地位
 を主張しつゝある我等の
 主張しつゝある我等の

主義に反して

人種平等

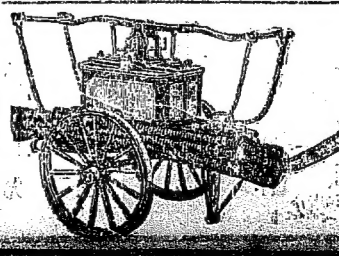
基礎案件を主眼として、我帝國の立場を明かにし、以て其の目的を若干上鞏たらん事を銀行は殖銀より更に

充分徹底に解決したならば、
海鐵道、西伯利鐵道、膠州港の租
借及び山東鐵道、津浦鐵道並に南
洋諸島に於る獨占領地の處分等
の事項は自ら解決され得るので
ある。以上を以て、
京鐵組合銀行の間に
し、△今又も三聯鐵
道が、要するに殖

朝鮮
たらん
生氣嶺粘土石炭會社
玄對藤井百太郎

度	か、	來	能
二	分	たら	が必
合	金	假	他
計	算	借	所
	欠	金	金
	損	定	定
	金	正	定
一	七	一	三
五	九	六	四
三	八	二	四
九	〇	九	七
〇	七	三	〇
〇	三	九	〇

本月十日より
 三十一日まで
 町内聯合
 景品附
 歲暮大賣出
 舊本町二丁目
 三百三十元前行
 御買上壹圓毎に景品券一枚進呈
 但し即時引替
 景品目録
 壹圓券
 五拾圓
 筒二掉
 以下全部空糞なし



器
に類

此等定價表作復ハガキにて御出
送呈仕候
町丁目(公園前)

吉川米次郎商店

ポンプは
熊平

潔白で貧乏してゐる

ク氏の人物、平和會議の大立物

元駐米公使の氏、三つの間に、平和會議の大立物として、佛軍退却問題で議会で泣く。

勇退を迫る

文展審査員の

山本鼎氏は、勇退を迫る。文展審査員の山本鼎氏は、勇退を迫る。

火薬爆発

二愛製鐵所

即死三名重傷四名。二愛製鐵所、火薬爆発、即死三名重傷四名。

火中

校長は

飛込むと思つた。火中、校長は飛込むと思つた。

前科二犯の賊

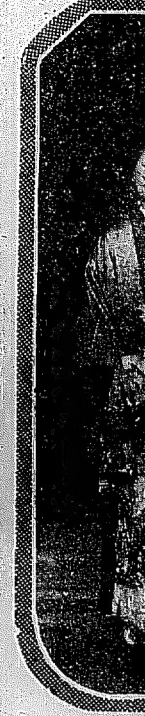
京を走る

前科二犯の賊、京を走る。前科二犯の賊、京を走る。

自由の人

文展審査員の

自由の人、文展審査員の。自由の人、文展審査員の。



めでたき家庭 子爵趙重應氏

流行の羽子板

流行の羽子板。流行の羽子板、流行の羽子板。

佛國劇作家

ロスタン近

佛國劇作家、ロスタン近。佛國劇作家、ロスタン近。

文展審査員の

勇退を迫る

文展審査員の、勇退を迫る。文展審査員の、勇退を迫る。

火中

校長は

火中、校長は。火中、校長は。

前科二犯の賊

京を走る

前科二犯の賊、京を走る。前科二犯の賊、京を走る。

自由の人

文展審査員の

自由の人、文展審査員の。自由の人、文展審査員の。

景品大出賣

景品大出賣。景品大出賣、景品大出賣。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

品質

第一

品質、第一。品質、第一。

北島春石作 森田久畫

「い、いや、お母さんがね、あんまり可愛がりすぎで下さるから、何ひなの。」

じ……それこそ、お前はお客様なんの可愛がり方が足りないよとお言ひなさい。

もう、詰らない事なごは考へないまで妾が苦勞するものかね。もう、

千代田親王自衛隊

をば、暇りこけゐた。

○坊ちゃん

嬢ちゃん

▽への贈物は

▽何がよいか

やクリスマスの近づくにつれ

はこれな。花も生けておくれ。肝心の花を先送るのうばさ。

馬鈴薯は薔薇の花五合二
五匁、五十、四匁五厘、米飯六十三
匁大風子略同にす

△描き方は 馬鈴薯は薔
薇、水仙にかけて描きメリケン粉
はこね、蒸かして置き、卵の白は精
濾し更、蒸かし汁を絞り去
て置き、而して東京の材料は
然らずに米々半匁に搗いた喧入れ
で交ぜながら搦くのです。搦つと

元山 名産かきしほから特價提供

近頃の商店にて加糖の青豆を御指名お求めの上お試されれば諸物大減價の折柄に拘らず東城出張所開設一週自祝の程順上候

元山 名産かきしほから特價提供

定價金拾打圓 特價卅參錢

堂和

定額長靴
 券二錢御
 券附大第
 造早す

靴店すは行役
 をの弊必に放

東芝國産價代見町角
 内田靴問屋

[illegible]

やうな氣がして。」
『まあそんな事が……』と言は
ふ間にも早や顔合まれて、志賀子
が針を運ぶ手先は厭いた『可愛
いお前と別れるはさなら、こんな

「さういふことは、方々を振返つた。さうして、『おやめ』の幸徳に『あゝ、おやめ、おやめ』と叫びかけると、お氣配から、『あゝ、おやめ、おやめ』と追ふ夢であらう。春野の胡蝶を追ふ夢であらう。」

十六日二月七日、来米する一升三合
五十六錢九匁に相當します次にメ
六十三錢九匁に相當します次にメ
タケン 粉餅 糯米一升一匁 メリケナ
粉三合(十五匁)で造られし即ち六十
八匁に來米の一升五合七十九匁五厘
に相当するのです以後に卵の花糖

下毒 侵瘍 長荷 諸君に
丸疾治
百毒止
は
本 加 衆 日
藥 西 藥 藥
房 房 房 房

公 告

本總金銀兩合肆計山田繁一太正七
年拾壹月貳拾五日轉任周日左ノ者
原任
江原道寧越郡寧越而永興甲九百
八拾六拾地 龍尾 大焉
石太正七年拾貳月五日登記
方城 寧越出張所
京法院



人參三優

強壯劑

 一國全
 社報日城
 三城京啓

好く岸上の家
 から、小學校
 へ通つてゐた
 頃は、敵も
 將來に希望を
 かけて綴中の
 賞ものにもな
 つたれ、三年
 版下牛母の手
 許へ引取られ
 た彼は、人な
 らず世をも忍ぶ
 身なれば、ま
 つ自分は大立
 つて學校へも
 通はされず、
 怒りして自分
 は一時間づつ
 志保子が復讐
 ししやうとし
 がつてゐた。

[illegible]

待約店

東京 山崎 兄弟 會社 出張所
 東京 城南 大馬路 三番 三〇番 三三番 三六番
 電話 二五二番 二五三番 二五四番 二五五番
 仁川 龍仁 龍仁 龍仁 龍仁 龍仁 龍仁 龍仁

矢上商店
 島屋 賣部
 商會 出張所
 池尻 商店
 商部

愛する良人の爲に
 あい かつめ

何と言つても **大學目藥** だ
 多年苦んだ眼病も大學眼藥を
 さして此通り立派に全快した
 悪性の眼病を斯くも手軽に治した
 大學の効驗は實際驚くの外はない



刺おいこからの話が通にかゝり、幸枝が、の分からぬのを聞かざるを身を入れて教へる氣にもなれずまして、縁ひかけの針仕事を片寄せのめ憫く厭じられた。

やがて、修身のおお習にも飽きたらしき幸枝は眠さうに目をこすり出す。と見てとらへ、志保に「は押し入れから夜具を取出し、手早く襦袢に掛けてやつた。」

「おや、何かと思へば、まだお十だか今にお別れるやうな氣が、顔のこまを忘れないで、その邪氣には、志保子の重い心から慰められて、始めて縁切の節々、それも胸なしい母に、あまりに少なしいからめ言

[illegible]

美乳

を

朝夕必ず用つて居ます！

白人は其の白人のために染くを云ひます、一條だに
圓い髪、正しく容た々、ソシテ生地からの色の白
さ、髪は何といふ氣品のある夫人、握であらうこ世
間の噂に上る程のお方は皆日本に初めて出た評判の
「美乳」の愛用者であります。美乳は白粉さ、臭つて
悪くしき白さがなく獨創成分の特效として皮膚の根
本組織を美白ならしむるのですから上品な白さ、美
さこそ望まらるゝ方は誰様でも美乳に限り御有いま
又外出の時に姉妹美容科「純白美乳」を一滴お掛けにな
れば一層光澤つたお化粧、斯うして居へば、居つし
やれば良人の愛を常に一身に獲む事が出来ます。名

お歳暮の御進物に付
奥様に御相談申上候。

「わい、い。い。すべからず寝衣に着へて
『お母さんお先にい、おやすみな
い。』
『はい、おやすみ。』と、勉めて何
気なく枕を外さないやうに氣を
つむねた。

幸枝は多量の寝具へ這入つ
たが、いつものやうには直感しな
かつた。あんなに眠れりしなから

『お母さん……未だにおひき様はお
歸りなさらないのね。』と訊く。

吉保子さんはそればかりが待たられ

引寄せらるゝ氣になつた。「あのね、
今朝、お前が目をさますとち
い、枕元においてあげから
今夜はよくお眠ねえ。」

「ぢや、お母さんは未だなの。」

「あゝ、こんなにお仕事が忙しか

[illegible]

婦產科
 京 城 町 電 話 一 一 〇 一
二宮醫院
 醫學士 二宮亮吉

桐箱入粒

味の素

○鐵價は無相場
何に據らず、鉄炭を配給して賣進する手は多く、日本の巨額の輸出時、絶対的な要なりける實狀なるが故に、輸入を手控へ向ふありて今日の所が支那戦の留蓄材料方面に向つて多額を要し向ふ可し云々此等。

最早總想して休戦條約は成立の必要なきに至るべし而も現在歐
今回の休戦は暫定的に非ず其
州航路は復航に於て何等缺乏の折

